

夏休みの経験をつなぐ 2019

7月8日(月)からの各学級における個人面談に際しましては、日程調整等、ありがとうございました。また、4月から保護者や地域の皆様には様々な面で本校の学校教育活動にご理解・ご協力を賜り、紙面ではございますが、感謝申し上げます。

さて、週末から38日間の夏休みが始まります。子どもたちの元気な声と笑顔が釜利谷小学校からしばらくの間、ご家庭に戻ることであります。この38日間、7月は水泳教室があり子どもたちの声も多少は聞こえてくるでしょうが、やはり寂しくなりそうです。夏休み前にはいつも、子どもたちの活動あつての学校だ、と感じております。

長い休みの期間、子どもたちはどんなことを経験しながら過ごすのでしょうか。自由研究に取り組む子、夏の家庭学習(宿題)を済ませ、読書やスポーツに取り組む子、長い休みならではの旅行を楽しむ子。キャンプ等で新しいことを発見したり経験したりする子、一人一人に様々な思い出があり、体験があると思います。この生(なま)で経験した事柄が今の自分の力のベースに積み重なり、まさに「生きてはたらく力」となっていくのです。こうした力を、夏休み明けの学びにつないでいてほしいと願っています。

夏休み明けの8月末からも「しっかりあいさつ」「いじめはしない、させない、許さない」を大きな柱として学校教育を進めてまいりますのでどうぞよろしく願いいたします。

8月27日(火)に皆そろって無事に再会できることを楽しみにしております。